



6 わり算の筆算 (2)

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

① 次の計算をしましょう。

(1) $100 \div 30$

(2) $650 \div 80$

(3あまり10)

(8あまり10)

(3) $260 \div 70$

(4) $930 \div 90$

(3あまり50)

(10あまり30)

わられる数とわる数を10でわったわり算で、あまりが出たときは、そのあまりに10をかけた数が、もとのわり算のあまりになります。

② 次の計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 25 \overline{)725} \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 41 \overline{)432} \end{array}$$

(29)

(10あまり22)

(3)
$$\begin{array}{r} 300 \overline{)6000} \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 400 \overline{)4200} \end{array}$$

(20)

(10あまり200)

わられる数とわる数を100でわったわり算で、あまりが出たときは、そのあまりに100をかけた数が、もとのわり算のあまりになります。

③ ちえこさんの学校では給^{きゅうしょく}食があり、15回に1回、ヨーグルトが出ます。1年間の給食の回数が200回だとすると、1年間にヨーグルトは何回出ますか。

<式>

$$200 \div 15 = 13 \text{あまり} 5$$

<答え> (13 回)

※H17 宮城県学習状況調査問題

- 4 ある数を12でわったら、商が16であまりは5になりました。ある数はいくつですか。

$$12 \times 16 + 5 = 197$$

<答え> (197)

わり算の式で考えます。□÷12=16あまり5
 わる数×商+あまり=わられる数
 12×16+5=197としてある数をもとめます。

※H18 宮城県学習状況調査問題

- 5 わり算のきまりを使うと、商が同じになる式をつくることができます。

下の **ア** には×または÷の記号を、 **イ** , **ウ** には数を入れて、
 商が同じになる式をつくりましょう。

$ \begin{array}{r} 350 \div 50 = \blacksquare \\ \downarrow \quad \downarrow \\ 70 \div \boxed{\text{ウ}} = \blacksquare \end{array} $	等しい	ア (÷) イ (5) ウ (10)
---	-----	--

わる数とわられる数を同じ数でわっても商は変わりません。
 350を5でわっているので50も5でわります。
 50を5でわると10となり、70÷10=7
 350÷50=7と答えは同じになります。